■(小野宮)藤原実資
ふじわらのさねすけ
呉越国返書・957=

公卿。政務に明るく公正、道長の妨害にも屈しなかった硬骨漢で、上下、女性からも信頼された。

藤原北家小野宮流斎敏の子に生まれ、祖父実頼の養子となる。母は藤原伊文の娘。

..... 966=9歳:

安和の変・・・969=12歳:元服、叙爵。官人として出発、
..... 970=13歳: _養父実頼が死去、小野宮第など多くの資産を伝領、また故実に関する家説を継承。
..... 972=15歳: _藤原頼忠の後見があったらしく、
..... 972=15歳: 実父斎敏の死去後、右近衛少将となり、

..... 975=18歳:

..... 977=20歳: この年、頼忠が関白になると、
..... 978=21歳: この年、_後世に貴重な資料となる日記「小右記」を起筆。

..... 981=24歳: _藏人頭。
..... 982=25歳: 遵子(頼忠女)立后の際、中宮亮を兼任。
..... 983=26歳: 左近衛中将。
永観荘園整理 984=27歳: 円融天皇譲位後、引き続き新帝(花山天皇)の藏人頭。
往生要集・・・985=28歳: 受禪の際、
花山天皇出家 986=29歳: _頼忠が失脚し、兼家が一条天皇の摂政になると、藏人頭辞任に至るも、
..... 987=30歳: _円融上皇の強い後押しがあって、復帰。

尾張国守罷免 989=32歳: *参議となり、逼塞状態にあった小野宮一門の期待を担う。

..... 993=36歳:

道長内覧宣旨 995=38歳: _道長政権にとっての必要性から、権中納言に昇進、
花山法皇事件 996=39歳:

枕草子・・・1001=44歳: *権大納言・右大将に至り、以後、長く勤める。

..... 1002=45歳:

兼官も左兵衛督、右衛門督、右大将と進み、その間太皇太后宮大夫や檢非違使別当も務めた。

また仏教信仰に厚く小野宮第に立派な御堂を造っている。富裕であった彼はこの邸宅にはしばしば造作を加えた。_九条流の道長の勢威に対し、小野宮の主流としての誇りを保ち、道長にも一目置かせるほどで、

..... 1011=54歳:

和漢朗詠集・1012=55歳: _三条天皇の女御口子(済時女)立后の際は、道長の妨害に屈せず、儀式を主宰。

藤原道長摂政1016=59歳: _以降、後一条朝には一段と重きを加え、賀茂社行幸など重要な行事を主宰。

..... 1020=63歳:

..... 1021=64歳: *右大臣、

藤原道長没・1027=70歳:

..... 1029=72歳:

..... 1036=79歳: この年、_「小右記」の記述が終わり、

..... 1037=80歳: 従一位。

..... 1038=81歳:

..... 1046=89歳: _没した。

信仰厚い仏教徒であったが、最期まで現実社会で活躍することを好み、死に臨んでも出家することなく、小野宮第には朝野上下の人々が参集し、声を放って慟哭したという。男子はなく兄懐平の子の資平を後継者としたが、資産は女子一人に譲与した。

「没年日本史人物事典」, 「人物日本歴史館」, 平凡社百科事典,